

北海道大学

科学技術コミュニケーター養成プログラム
(CoSTEP)

受 講 生 募 集 要 項

2014年度 第1次募集

2014年2月7日

北海道大学 高等教育推進機構 高等教育研究部
科学技術コミュニケーション教育研究部門

目次

1	募集要項	3
1.1	受講資格	3
1.2	履修コース	3
1.3	募集人員	4
1.4	開講期間	4
1.5	受講申込みの方法	4
1.6	受講生の選考方法	5
1.7	選考結果の発表	5
1.8	受講料	6
1.9	修得・修了の要件	6
1.10	e-learningでの受講について	6
1.11	問い合わせ先	6
2	履修科目	7
2.1	本科における履修科目	7
2.2	選科における履修科目	8
2.3	その他	8
3	受講申込み時に選択する必修科目	9
4	受講決定後に選択できる科目	11
5	修了要件	12
6	授業のスケジュール	12
7	募集説明会	13
8	その他	13
8.1	開講式・特別授業とガイダンス	13
8.2	成果発表会・修了式	13

1 募集要項

1.1 受講資格

CoSTEPを受講できるのは、次の2つの要件を満たした方です。

1. 大学を卒業した方、またはそれと同等のリテラシーを有する方
2. CoSTEPで学んだことをもとに、将来にわたって継続的に科学技術コミュニケーション活動を行なっていこうという意欲に溢れる方*

1.2 履修コース

CoSTEPには、「本科」と「選科」があり、いずれか一方を選択して履修します。

本科

科学技術コミュニケーターとして、自らが中心となって様々な科学技術コミュニケーション活動を企画・実施できる総合的な知識・スキルを習得します。講義、演習、実習を必修科目として受講します。

選科

科学技術コミュニケーターとしての基礎的な知識とスキルを習得します。講義、演習を必修科目として受講します。講義はe-learningでも受講可能で、下記の演習Aもしくは演習Bを通学して学びます。遠方の方など、頻繁に通学するのが難しい方でも、受講できます。

演習A（8月22日～24日に3日間通学）サイエンス・カフェなどのイベントの企画運営、ファシリテーションなどに重点を置いて学習します。

演習B（10月11日～13日に3日間通学）分かりやすい文章を作成することを通じて、サイエンスライティングの基本を学習します。

履修科目

	本科	選科	参照頁
講義			7, 8
本科演習		-	7
選科演習（AまたはB）	-		10
本科実習		-	9
選択実習			11

は必修， は選択

*ここにいう「継続的な科学技術コミュニケーション活動」は、大学や科学館など既存の組織・機関に関する科学技術コミュニケーション活動に限られません。多様なメディアを使った情報発信、地域の人々のサークルを通してのコミュニケーション活動など、様々なタイプの独創的な活動を含みます。

1.3 募集人員

本科：20～30名

選科：30～50名

1.4 開講期間

2014年5月10日（土）～2015年3月7日（土）

2014年5月10日（土），11日（日）には，開講式・特別授業・ガイダンスがあります。

2015年3月7日（土）には，成果発表会と修了式があります。

（13ページをご参照ください）

1.5 受講申込みの方法

申込みの受付期間

受講生の募集を，下記のとおり行います。

第1次募集：2014年4月1日（火）～4月16日（水）<正午締切>

- * 第1次募集の状況によっては第2次募集を行うことがあります。第2次募集を行うかどうかは，2014年4月17日（木）にCoSTEPウェブサイト（<http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/costep/>）で発表します。

申込み方法

受講を希望する方は，申込みの受付期間中にCoSTEPウェブサイトから所定のフォームに入力して送信してください。記入されたメールアドレスに受付番号を返信します。このメールをもって，応募書類を受け取ったことの確認とします。（受付番号のメールが届かないときは，CoSTEP事務室（011-706-5320）まで電話にてお問い合わせ下さい。）

- * 応募に際しては，「本科」か「選科」を選択してください。
- * 本科を希望する方は，選科に併願できます（本科を第一希望として選考します）。
- * 申込み受付番号は，面接や合格の通知に利用します。

1.6 受講生の選考方法

本科

本科は、書類と面接の2段階で選考します。書類選考を通過した方については、面接を2014年4月19日（土）または4月20日（日）に行います。[†]

選科

選科は、書類のみにより選考します。

1.7 選考結果の発表

本科

書類選考の結果 2014年4月17日（木）18時

CoSTEPウェブサイトにて、書類選考を通過した方の面接日時を、申込み受付番号により発表します。

2014年度合格者の発表 2014年4月23日（水）18時

CoSTEPウェブサイトにて、合格者の申込み受付番号を発表します。

選科

2014年度合格者の発表 2014年4月23日（水）18時

CoSTEPウェブサイトにて、合格者の申込み受付番号を発表します。

[†]応募フォームに、面接に都合のよい日および時間帯を記入していただきます。この2日のいずれも都合が悪い特別な事情があるときは、その旨ご記入下さい。対応可能な範囲内で事情を考慮することがあります。

1.8 受講料

各コースの年間受講料は、以下のとおりです。

本科：48,000円

選科：23,000円

ただし、北海道大学に在籍する学生は、以下の金額となります。

本科：20,000円

選科：10,000円

このほかに、一部の授業では、教科書もしくは参考書を購入していただくことがあります。また、実習時に交通費が必要なときは実費を負担していただきます。

1.9 修得・修了の要件

各科目は、「5. 修了要件」(12頁)に示された「修得要件」を満たしたときに、その科目を修得したと認めます。各科目に関する評価は、「修得」もしくは「未修得」のいずれかとし、優良可や点数で評価することはしません。

必修科目をすべて修得した方には、北海道大学所定の「修了証」を授与します。

1.10 e-learningでの受講について

講義のe-learning配信

講義は e-learningでも受講できます。授業日の翌日以降、受講生用のウェブサイトですべて自由に視聴できます。ただし、著作権等の関係で授業の一部が配信できない場合があります。尚、使用するパソコンは、WindowsでもMacでもかまいません。

* 演習、実習は、教室でしか受講できません。e-learning配信はありません。

1.11 問い合わせ先

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

北海道大学 高等教育推進機構 CoSTEP事務室

電話 011-706-5320

e-mail office@costep.hucc.hokudai.ac.jp

* お問い合わせは、できるだけe-mailでお願いします。

2 履修科目

必修科目

本科と選科それぞれで履修する科目は、以下の通りです。

2.1 本科における履修科目

原則として、講義、演習、実習の授業がそれぞれ月に3回程度あります。

科目	授業数	日時	備考
講義	27	5月11日(日)及び 土曜日(5月17日～) 13:00-14:30	教室で受講。ただし、9回まではe-learningで受講可
本科演習	17	水曜日(5月14日～) 18:30-20:00	教室で受講。
本科実習	26	土曜日(5月17日～) 15:00-17:00	

講義について

講義は、科学技術コミュニケーションを体系的に学ぶ8つのモジュール[‡]で構成されています。

- * 27回の講義(必修)のほかに、一昨年度及び昨年度の講義の中から今年度の講義を補完するような授業をe-learningで配信します。希望者は自由に視聴できます。

本科演習について

本科演習では、ライティング、プレゼンテーション、グラフィックデザイン、ボイスコミュニケーション、ロジカルシンキング、データ表現などのスキルを学びます。

- * 上記以外に、特別演習を実施します。
 - ・映像表現特別演習：7月19・26日(開講後に希望者を募集します)

本科実習について

本科実習では、4つの実習から1つを選んで履修します。内容については、9頁の表をご覧ください。

- * 実習では、必要に応じ授業時間外に作業をする場合があります。

[‡]モジュールとは：特定のテーマに沿って開講される、3回程度の授業のまとまりを示します

2.2 選科における履修科目

必修科目

講義は、原則として月に3回程度あります。

科目	授業数	日時	備考
講義	27	5月11日（日）及び 土曜日（5月17日～） 13:00-14:30	教室で、またはe-learningで 受講
演習A（イベント企画 運営）	12	8月22日～24日の3日間に受講。 22日（金）10:30-18:30，23日（土） 9:00-18:30，24日（日）9:00-16:30 （予定）	演習AまたはBを選択
演習B（サイエンスラ イティング）	12	10月11日～13日の3日間に受講。 11日（土）10:30-18:00，12日（日） 9:00-18:00，13日（祝）9:00-16:00 （予定）	

講義について

講義は、科学技術コミュニケーションを体系的に学ぶ8つのモジュール[§]で構成されています。

* 27回の講義（必修）のほかに、一昨年度及び昨年度の講義の中から今年度の講義を補完するような授業をe-learningで配信します。希望者は自由に視聴できます。

演習について

10頁の表をご参照ください。

2.3 その他

1. 予めカリキュラムに用意された内容以外に、教員の指導のもとで、受講生自ら科学技術コミュニケーションに関する企画を提案し、実施することができます（実現可能性などの審査があります）。
2. 開講後に、科学技術コミュニケーションに関する選択授業や、特別ワークショップなどが開講される可能性があります。

[§]モジュールとは：特定のテーマに沿って開講される、3回程度の授業のまとまりを示します

3 受講申込み時に選択する必修科目

本科実習

4つの実習から1つを選択して履修します。

授業の目標 / 習得できるスキル	授業内容
ライティング・編集実習	
科学技術に関わる題材について、専門家と非専門家間のコミュニケーションを促進するための文章力を身につけます。取材、執筆のほか、訴求力の高い発信をするための企画や編集についても学びます。	北大の研究や活動・学術資料などを題材に、調査やインタビューを行い、文章を執筆します。科学的な事実を踏まえた上で、わかりやすさや親しみやすさも重視し、読者の心に残る文章の書き方を学びます。文章の理解を助ける写真、図、イラストなどの選び方なども含めた、文章を主な要素とする制作全般に取り組むプログラムです。執筆した文章は、ウェブや紙媒体などで公開します。
音声・映像制作実習	
音声や映像メディアを使って、科学を魅力的に伝えるスキルを学びます。言葉や音だけで科学を分かりやすく楽しく伝える、研究の現場を生き生きと映像で表現するといった表現技術に加え、創造性、コミュニケーション力、メディアリテラシーを身につけます。機材等は全て用意します。特別な知識や技術は必要ありません。	月に1回のラジオ番組（約30分）制作を中心に、音声・映像コンテンツを制作します。音声、映像どちらを中心に実践するかは、実習が始まってから各自の希望を聞いて決めます。ただしラジオ番組の制作には、全員が関わります。映像は、年間を通じて、3～10分程度の作品を1人あたり1～2本、修了までに仕上げます。
グラフィックデザイン実習*	
基本的なグラフィックデザイン技法を学ぶことで、プレゼンテーション、広報に役立つスキルを身につけます。さらにデザインのベースとなる「アイデア」を考える力を養います。* 履修者は、Adobe Illustrator と Adobe Photoshop の使用経験があり、自分のパソコンを所持していることが望ましい。	サイエンス・カフェ札幌の広報のためのチラシ制作に取り組み、視覚表現のスキルを実践的に学びます。具体的には、カフェのゲストの研究内容のエッセンスをくみ取りながら、イベントの企画を具体化し、さらに広報の一連作業（制作 / 印刷 / 配付）を通して「デザイン」について学びます。
対話の場の創造実習	
科学技術コミュニケーションに関する対話型イベントの企画、準備、運営、評価の知識とスキルを学びます。また、チームでの活動になるので、チームワーク、リーダーシップ、プロジェクトマネジメントについても実践的に学ぶ機会が提供されます。	紀伊國屋書店インナーガーデンでの「サイエンス・カフェ札幌」を2回、フリースタイルの対話型イベント（開催場所等は任意）を2回程度実施します。企画（テーマの決定、ゲストの選定・交渉、参加者層の想定等）の大まかなスタートラインは教員の方で準備しますが、それに基づくプログラムの具体化、実施準備、実施、評価まで、受講生が主体的に取り組めます。

選科：演習Aまたは演習B

2つの演習のうち、いずれかを選択して履修します。

授業の目標 / 習得できるスキル	授業内容
演習A (イベント企画運営)	
サイエンス・カフェや各種のワークショップなど、参加・体験型イベントの企画者・進行役に求められる企画、プログラムデザイン、ファシリテーションなどのスキルを身につけることを目指します。異分野、異世代とのコラボレーションを通して、発想と実践のための素材を持ち寄り、互いの問題意識の違いや共通性を見い出しながら活動をデザインしていくことの醍醐味や可能性、課題を体得していきます。	数人ずつのグループに分かれて、科学技術に関連したテーマや話題を持ち寄り、ミニ・サイエンスイベントを企画・準備するためのグループワークを行います。グループワークを効果的に行うために必要な企画のノウハウや、ファシリテーションの技法について解説するミニレクチャーも行います。企画を立案しプログラムを構成した後に、イベントのリハーサルを行い、他の受講生などの前で実際に上演するところまでを体験します。
演習B (サイエンスライティング)	
サイエンスライティングのスキルを3日間かけて集中的に学びます。サイエンスライティングにおけるテーマ選び、読者の想定、媒体に適した記事の作り方など、文章作成に必要な要素を意識し、文章の構成や日常の言葉と専門用語の使い分け、さまざまな表現方法を体得します。チラシやパンフレットなどの短い文章表現から論説などの長文など、さまざまな目的・媒体・想定読者などに対応できるスキルを習得します。	課題をもとに執筆に取り組みます。同じテーマでもその目的や読者が異なる場合や媒体などの違いにより求められる文章表現が異なることを意識しながら、作品を仕上げることに取り組みます。

4 受講決定後に選択できる科目

本科及び選科の受講生は、必修科目のほかに、次の科目を選択して履修することができます。授業には定員があります。（希望者の状況により、開講されない場合があります。）

授業の目標 / 習得できるスキル	授業内容	開講時期 / 定員
リスクコミュニケーション実習		
東日本大震災では、これまで専門家や行政がリスクに関する社会との対話を十分進めてこなかったという問題点が露呈しました。今後の科学技術コミュニケーションにおいては、リスクコミュニケーションをどのように進めていくかという視点が重要です。そのための実践的な手法等についてアイデアを出しあい、メディアを活用した、コミュニケーションの場を設計します。	前半は参考文献を読んだり、テーマに沿った講師をお呼びします。途中からは「福島県内の放射線と食」という研究テーマに沿った取り組みとなります。現在、放射能検査を実施している福島市あるいは近隣の米を、学校給食など地産地消に活用していく方針が示されています。具体的には過去に取材した映像等をもとに、受講生が中心となって対話の場を作ります。	5月～翌2月の月1～2回程度（日程は随時調整） / 2～5名ほど
リサーチ＆ライティング実習		
「CoSTEPレポート（仮）」の作成を通して科学技術コミュニケーションの課題について理解を深め、調査、取材、分析、記事執筆の基礎を学びます。	科学技術コミュニケーション全体を俯瞰し、理解を深めるため、CoSTEPやその他の科学技術コミュニケーション組織等はどのような取り組みを行ったのか、またこれからどのような課題が注目されるのか等を、各種資料やインタビュー等を元にまとめます。最終的には科学技術コミュニケーションにある程度関心のある人を読者対象とした「CoSTEPレポート（仮）」の作成、公開を目指します。	5月～翌2月の月1～2回程度（日程は随時調整） / 2～5名ほど

5 修了要件

CoSTEPを修了するためには、必修科目並びに選択必修科目の修得要件を満たす必要があります。各科目の修得要件は以下の通りです。

本科

科目		種別	修得要件	授業数
講義	講義	必修	すべての授業を受講（教室で受講。ただし9回まではe-learningで受講可） 年間8本程度のレポートを提出	27
演習	本科演習	必修	出席率70%以上 所定の課題を提出	17
実習	本科実習	選択 必修	4つの実習から1つ選ぶ 出席率70%以上	26

選科

科目		種別	修得要件	授業数
講義	講義	必修	すべての授業を受講（e-learningあるいは教室） 年間8本程度のレポートを提出	27
演習	演習Aまたは演習B	選択 必修	集中演習の3日間とも出席のこと	12

6 授業のスケジュール

詳しい授業の内容と、年間スケジュールについては、CoSTEPのウェブサイトをご覧ください。3月下旬に掲載する予定です。

7 募集説明会

以下の日程で、CoSTEPの受講生募集について説明会を2回開催します（内容は同じです）。

日時：2014年4月5日（土）13時～15時30分（修了生による座談会を予定）

2014年4月9日（水）18時30分～20時（修了生による座談会なし）

会場：北海道大学 学術交流会館 小講堂（札幌市北区北8条西5丁目）

8 その他

8.1 開講式・特別授業とガイダンス

開講第1日、第2日は、以下のような内容で特別授業を行います。

5月10日（土） 13:00～18:00

・開講式

・特別講演会：「デザイン『あ』が切り拓く、新しい教育の可能性（仮）」

佐藤正和 氏（NHKエデュケーショナルこども幼児部ディレクター）

・ガイダンス

・ウェルカムパーティ

*開講式・ガイダンスはe-learningでの配信も行います。

5月11日（日） 9:30～16:30

・講義（モジュール1-1）：「はじめよう！科学技術コミュニケーション（仮）」

石村源生（CoSTEP特任准教授）

・オープニング・ワークショップ

8.2 成果発表会・修了式

2015年3月7日（土）

・成果発表会：1年間の学びの成果を、ポスター及びステージにて発表します。

・修了式：各科の修了生に修了証を授与します。